

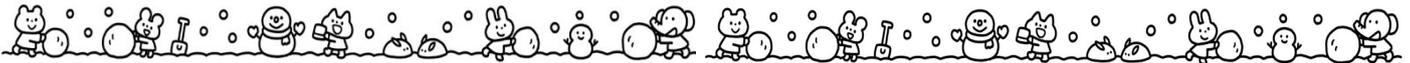
2025年度 2月号

きりんぐみだより

社会福祉法人 尚徳福祉会 生麦保育園



一年で一番寒いと言われる季節になりました。子どもたちは戸外に出ると手がかじかんでしまう日も「外で遊びたい」と体を動かして遊び、「汗をかいた」と毎日元気いっぱい過ごしています。そして給食を「おいしい」とモリモリ食べています。おかわり分もほとんどなくなります。肌の乾燥や感染症が流行る時期でもありますので、手洗いうがいをしっかりと行いながら体調管理に気を付けていきたいと思えます。



子どもたちの様子

先日、高砂会の方と一緒にかるたやトランプ、すごろくを楽しみました。それ以前から楽しんでいる子もいましたが、これを機にさらに遊ぶ子が増えました。特にすごろくはサイコロを振って出た数を進むのを楽しんでいて、止まったところに書いてある指示を友だち同士で確認しながら遊ぶ様子はとても微笑ましいです。かるたは普通のものから「ことわざかるた」にバージョンアップしました。遊びながら自然に数や文字に興味を持ち、いつの間にか文字が読めるようになっています。また縄跳びがブームが到来し、自分で練習したり、大縄にみんなで列を作ってたくさん跳んでいます。友だちが数をかぞえてくれるのが力となって、ぐんぐん上達しています。



こんなのできたよ

ものづくりが大好きな子どもたち。お正月遊びで凧作りをしました。「何を描く?」「私はハート、ぼくはウルトラマン描くよ」と話しながらビニール袋に好きな絵を描いていました。完成すると早速「早く凧揚げしたい、いつ行くの」と待ちきれない様子でした。そして、公園に行って凧あげが始まるとみんなもう汗をかきほど何度も走り、凧が揚がる姿を楽しんでいました。「またやりたい」という子がいたので、別の日にも楽しみました。

また、節分に向けて鬼のお面づくりもしました。目玉や鼻など色々な形をはさみで切り、顔の色、角、目玉、髪の毛を選び、自分のイメージする鬼を作りました。完成すると鏡の前でビニールのところから覗いて「どう?」と見せあっていました。ハサミの使い方が上手になり、色々な形を切れるようになりました。

おみせやさんごっこ

早いもので今年度も残すところあと2か月。年長児に向けての取り組みとして、きりん組が主催してお店屋さんごっこをする予定です。普段からものづくりが大好きな子どもたちは、みんなでやりたいお店屋さんを話し合い、作品作りを頑張っています。お店屋さんの看板づくりでは、さし絵に色を塗る、ハサミで切る、糊で貼る作業を分担しました。ペンで大きな字を書くことにも挑戦しました。たこ焼き&焼きそば、ドーナツアイス、アクセサリー、携帯のお店の開店準備に意欲的に取り組んでいます。一つの目標に向かって友だちと協力して取り組む楽しさを味わいながら「わたし、ドーナツ屋さんがやりたい」「いらっしゃいませー、これいかがですかー」と子どもたちも今から楽しみにしています。